

会議録

会議の名称	平成22年度第4回西東京市消防委員会
開催日時	平成23年2月22日（火曜日） 15時30分から16時50分まで
開催場所	西東京市防災センター 災害対策本部室
出席者	中野委員長、蓮見職務代理、柏木委員、櫻井委員、原田委員、村田委員 長谷川委員、河村危機管理室長、保谷危機管理特命主幹、長谷川主査
議題	1 災害時支援協力員登録者について 2 消防団協力事業所表示制度について 3 女性消防団員の任用について 4 その他
会議資料の名称	1 災害時支援協力員登録者について 2 災害時支援協力員登録者名簿 3 ボランティア保険の概要 4 消防団協力事業所表示制度について 5 資料1 「消防団協力事業所表示制度」実施について（通知） 6 資料2 特別区の消防団協力事業所表示制度申請手続き等のご案内 7 女性消防団を任用している消防団
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○中野委員長： 挨拶</p> <p>○中野委員長： 議題1 災害時支援協力員登録者について 事務局に説明を求める。</p> <p>○事務局： 資料に基づいて説明する。</p> <p>○中野委員長： 対象者が143人・登録者が47人、率に換算すると32.9パーセントとのことですが、想定より少なかったと思いますが、この結果についてご意見等がございますか。</p> <p>○村田委員： 旧保谷市地区では、分団長経験者が退団することなく、一般団員として引き続き活動していただいている現状がありますので、OB団員が少なく、この様な結果になったのではないのでしょうか。 当初の目標は、各分団10名でしたので、結果目標に満たない分団がありますので、提案させていただきますが、要綱では西東京市消防団を退団したものとなっておりますが、可能であれば、西東京市消防団を退団した方の推薦でも可とか、旧市に属して退団した方で、意欲のある方などと要件の緩和ができないのでしょうか。</p>	

○中野委員長：

各分団10人を見込んでいましたが、想定外に少なかったと思います。

登録者がいない分団や少人数しかいない分団では、災害時に支援が得られず支障を及ぼすことになると思います。

村田委員から要件の緩和について提案がありました。このことについて、ご意見等ありませんか。

○長谷川委員：

対象者数に対し登録者数が少ない理由を把握しているのか。

○中野委員長：

案内については、分団長が責任をもって退団者へ案内をしていただいたのでしょうか。

○事務局：

各分団の状況については、報告いただいておりますので、申し込まない事情や案内中なのか把握しておりません。

今期で任期替えに伴い3月で退団する方がいますので、災害時支援協力員の登録のご案内はさせていただきます。

今回対象者の方で、登録されていない方については、引き続き分団等を通じ要請を図っていきたいと思います。

○蓮見委員：

合併して10年経過しましたが、合併当時に退団した方の年齢が気になる場所があります。

7分団以降の登録者が少ない分団は、旧保谷市消防団は15人態勢であったことや分団長を経験し一般団員として残るためOBが少ないことも要因であると思います。

また、多い分団は15人の登録があり、地域的にかなりばらつきが見受けられ、これで良いものか疑問を感じる。

3月の退団者の状況で多少は変わるのでありますが、さらなる偏りが生じてはいかがなものかと思うところです。

○櫻井委員：

ばらつきについては、田無地区の退団者の方が多いので、止むを得ないのではないのでしょうか。

全体的な総数で考えれば良いと思う。

○蓮見委員：

応援体制など確立して、運用をしていけば良いのではないかと。

○中野委員長：

再度、分団長が退団者へ声をかけていただき、協力を頂けるかの再確認をお願いしたいと思う。

今期、退団する方も居ることですので、対象にして声を掛けるようお願いする。

○蓮見委員：

消防団の幹部会議を行っていると思うが、登録者について話せないのでしょうか。

○村田委員：

今月の幹部会議で報告がありました。

○事務局：

今期の退団予定者ですが、11・12分団が各1名・9分団0名の予定です。

○中野委員長：

合併前に退団した団員で、支援協力員になっても良いという方がいれば、そのような方も対象にしても良いのではないのでしょうか。

○原田委員：

要綱は、西東京市消防団を退団した方となっています。

○櫻井委員：

その場合は、改正が必要ですね。

○村田委員：

次回の消防団幹部会議の時に新旧の分団長が来ますので、退団者に再度声をかけていただくように話をさせていただき、分団で対処できないようであれば、事務局で対応することを伝えましょう。

○蓮見委員：

強制となってしまうと反発を招いてしまうので、善意としてお願いしたいので、気長に待つしか仕方がないのでしょうかね。

○村田委員：

先日、防災会議がございまして、地域防災計画に災害時に協力するとのことで、災害時支援協力員が掲載されました。

委員長が話された要件の緩和について、意識を持っていただくことを確認して、若干でも人数が確保できればと考えます。

○中野委員長：

旧市の退団者でも今回は、協力員になれるとのことで、お願いしていただきたい。

○事務局：

要綱改正の必要の有無については、確認させていただきます。

趣旨的には、田無市・保谷市の消防団を退団した方を含むとした時に、分団長経由で退団した方の名簿を渡し働きかけをすると思うのですが、その際にいつ時点の退職者まで対象にするのか。

○中野委員長：

事務局での把握がかなり難しいとおもうので、分団にまかせて声を掛けてもらえば良いのではないかと。

○長谷川委員：

10・11・12分団合わせて8人ですが、一つの方法ですが、3個分団を統一することも考えて良いのではないのでしょうか。

○蓮見委員：

10分団エリアは、天神山のあたりですが、昔は農家が多かったのですが、今は色々な職種の方が入っていただいています。

退団者に声は掛けているのですが、全て断られてしまっているのが現状です。

○事務局：

今期の退団予定者は20数人いるので、声は掛けさせていただきます。

○中野委員長：

今回については、地域によって偏った登録となってしまったが、当面は全体的に活動していただければ宜しいのではないか。

○村田委員：

要綱の変更については、消防委員会が承認すればよいのか。

○事務局：

内部決裁になります。

要綱については、事務局で対応します。

○蓮見委員：

ボランティア保険の概要で、個人の自発的な意思により他人や社会に貢献する目的を持って取り組まれる活動とはどのような範囲か。

○中野委員長：

事務局は、どのような範囲が対象になるか確認してください。

よろしくお願いします。

○中野委員長：

議題2 消防団協力事業所表示制度について

事務局に説明を求める。

○事務局：

資料に基づいて説明する。

○中野委員長：

この制度を実施している団体がまだ少ないようです。

○事務局：

平成18年に通知あり、平成19年に三鷹市が制定してから微増ではありますが、増加しています。

制定された場合、任意の制度ですので申請しなくても罰則等はありません。

- 長谷川委員：
西東京市において、この制度に該当しそうな事業所はあるか。
- 事務局：
事業所に2人の消防団員がいる事業所が1箇所あります。
- 蓮見委員：
事業所にメリットはありますか。
- 事務局：
登録されますと消防団協力事業所の表示証が表示できる。また、ホームページや会社案内等に表示できます。
その他具体的なメリット等はありません。
- 蓮見委員：
消防団にとっては、このような事業所が増えれば、宜しいと感じます。
- 柏木委員：
この制度に3つのポイントがあります。
1つ目は、従業員が消防団に入団しやすい環境作り。
2つ目は、従業員が消防団活動しやすい環境作り。
3つ目は、協力事業所に対しての証の表示証を交付し、社会貢献を果たしていることを社会的に評価することにより協力事業所の信頼性が向上することです。
特別区においては、千代田区の丸の内がとても多いが、居住者が少ない地区であります。
このような地区では、企業に協力をいただければ、消防団が成り立たないので、入団の方法として活用している。
- 中野委員長：
本制度については、消防団の環境作りや団員確保が目的になるので、今後の検討課題としたいがいかがでしょうか。
- 各員：
異議なし。
- 中野委員長：
引き続き検討課題とします。
- 中野委員長：
議題3 女性消防団員の任用について
事務局に説明を求める。
- 事務局：
資料に基づいて説明する。
- 中野委員長：

火災現場に出動するのではなく、広報活動等が主体となっているようですが、本件について、意見等がありますか。

○蓮見委員：

応急救命普及員資格の取得やAED取扱い説明などの指導員として、住民に指導や広報活動に本部の女性隊として活動していただく時期に来たのではないかと思うところがあります。

○村田委員：

今期は、定数に達していない状況であり、来期についても定数を充足しない見込みであります。

女性団員について、検討する余地は充分ある。

団で応急救護普及のための訓練が活発になれば是非必要と思う。

応急救命普及員資格を2名の団員が取得していて、消防署等で行われるセミナー等に参加している。女性団員に資格を取得していただいて、この様な活動をしていただければ非常に良いと思う。

○中野委員長：

前向きに考えたほうが良いと意見がありましたが、他にありますか。

○事務局：

本件については、来年度の消防委員会の検討テーマとしたいがいかがでしょうか。

○中野委員長：

予算や入団条件等の詳細について、多方面で議論することがあると思いますので、次回以降の消防委員会にお計りしたいと思います。宜しいでしょうか。

○各員：

異議なし。

○中野委員長：

議題4 その他について
事務局に説明を求める。

○事務局：

次回の消防委員会を4月に開催したい。

○原田委員：

3月中頃までに連絡をいただきたい。

○事務局：

4月後半に開催したいので、調整させていただきます。

○中野委員長：

他にありますか。

無いようですので、本日の第4回西東京市消防委員会会議を終了する。

